

平成22年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成21年度対象)

平成22年9月

高梁市教育委員会

## 目 次

### I はじめに

- 1 制度の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 点検・評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 点検・評価に関する有識者について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

### II 教育委員会の活動状況

- 1 教育委員の選任状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 教育委員会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 教育委員会審議案件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 その他主な活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

### III 教育委員会事務局の行政組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

### IV 教育委員会事務局の事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

### V 教育委員会の基本方針と目標

- 1 平成21年度基本方針及び教育行政重点目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2 教育行政重点目標の施策体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

### VI 教育行政重点目標の点検及び評価の結果

- 1 「生きる力」をはぐくむ学校づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 2 人づくりのための学習環境づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 3 心豊かな人づくり、活力あるまちづくりをめざした生涯学習の推進・・・・・・・・ 17
- 4 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり・・・・・・・・ 23
- 5 暮らしの中にスポーツを／いつでも、どこでも、気軽に・・・・・・・・ 28

## 1 制度の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月からすべての教育委員会が、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、市民へ公表することになりました。

高梁市教育委員会では、地教行法の規定に基づき、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の皆さまへの説明責任を果たすことを目的として、平成21年度に重点的に取り組んだ事業について点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

《参考》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価の方法

高梁市教育委員会では、毎年度教育行政の基本方針やその年度の重点的に取り組むべき施策として「教育行政重点目標」を定めています。この重点目標に基づき行っている事業について、教育委員会が自ら点検・評価を行いました。

## 3 点検・評価に関する有識者について

点検・評価を実施するにあたり、地教行法第27条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する次の3名の方に、教育委員会が行った点検・評価の結果について、ご意見等をいただきました。

平岡弘正 氏（吉備国際大学社会学部国際社会学科教授）

小倉 浩 氏（社会教育委員会議議長）

柴倉初美 氏（元高梁市立幼稚園長）

## II 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員の選任状況（平成21年度在籍）

氏名	在任期間又は任期	備考
江草正光	H16.10.1～H21.11.15	H19.11.16～H21.11.15 委員長
大内道登	H21.11.16～H25.11.15	H21.11.16～ 委員長
保田貴子	H16.11.16～H21.11.15	H20.9.30～H21.11.15 委員長職務代理者
五島章友	H20.11.16～H24.11.15	H21.11.16～ 委員長職務代理者
山下里絵	H19.11.16～H23.11.15	
山内廣子	H21.11.16～H22.11.15	
平田 守	H20.11.16～H24.11.15	H20.11.16～ 教育長

### 2 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回定例会を開催し、また必要に応じて臨時会を開催しています。平成21年度は定例会12回、臨時会を1回開催しました。

### 3 教育委員会審議案件

地教行法第26条及び高梁市教育委員会事務委任規則の規定に基づき、平成21年度は合計58件について審議しました。

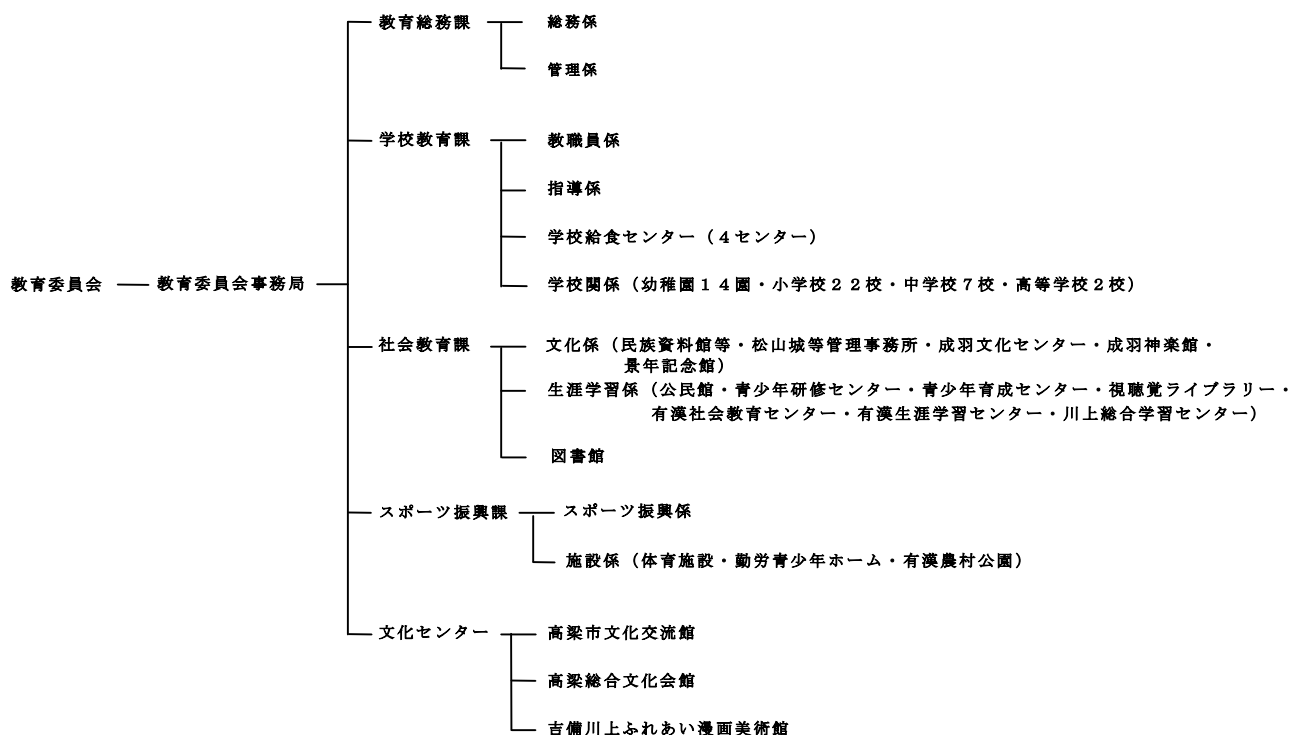
- (1) 教育行政に関する基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- (2) 教育委員会規則等の制定又は改廃・・・・・・・・・・・・・・・・ 21件
- (3) 教育予算その他議会の議決を要する議案に関する事・・・・・・・・ 6件
- (4) 職員（教職員を含む）の人事に関する事・・・・・・・・ 4件
- (5) 法令又は条例等に定めのある附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・ 13件
- (6) 教科書の採択に関する事・・・・・・・・・・・・・・・・ 4件
- (7) 通学区域の設定又は変更に関する事・・・・・・・・ 6件
- (8) 教育委員会に係る事務の点検及び評価に関する事・・・・・・・・ 1件
- (9) その他・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件

#### 4 その他主な活動状況

年 月	教育委員が出席した活動等
平成21年4月	・幼稚園入園式、小・中学校、市立高校入学式
5月	・学校訪問（小学校8校、中学校5校訪問） ・高梁・新見地区教科用図書採択市町村教育委員会協議会 ・国民文化祭実行委員会 ・市町村教育委員会人権教育連絡会
6月	・市議会6月定例会 ・第24回童謡まつり in 高梁
7月	・岡山市町村教育委員会連絡協議会総会 ・高梁・新見地区教科用図書採択市町村教育委員会協議会 ・第7回中国地区市町村教育委員会研修会7/16～7/17 （山口県山口市）
8月	・子育てふれあいフェスティバル 2009
9月	・幼稚園、小・中学校、市立高校運動会 ・市議会9月定例会 ・神原スポーツ公園多目的広場完成記念式典及び記念イベント
10月	・幼稚園、小学校、市立高校運動会 ・平成21年度教育委員会表彰表彰式
11月	・岡山市町村教育委員会連絡協議会研修会
12月	・市議会12月定例会
平成22年1月	・成人式 ・市長との懇談会 ・『私たちが考えた給食献立』試食会への参加
2月	
3月	・幼稚園、小・中学校、市立高校卒業式 ・市議会3月定例会

III 教育委員会事務局の行政組織（平成 21 年 4 月 1 日）

（組織図）



IV 教育委員会事務局の事務分掌（平成 21 年 4 月 1 日）

教育総務課

総務係

- (1) 課内の庶務に関すること。
- (2) 教育委員会の会議及び教育委員の報酬等に関すること。
- (3) 請願及び陳情に関すること。
- (4) 儀式表彰に関すること。
- (5) 条例、規則その他例規及び公告式に関すること。
- (6) 事務局職員及び教育機関職員(校長、教員を除く。)の人事、給与及び福利厚生等に関すること。
- (7) 文書の受発及び広報に関すること。
- (8) 事務局の物品に関すること。
- (9) 学校の経理事務指導に関すること。
- (10) 公印の保管に関すること。
- (11) 事務引継に関すること。
- (12) 各課の連絡調整に関すること。
- (13) 他の課及び課内の他係に属さないこと。

(14) 寄付採納に関する事。

(15) 奨学金に関する事。

#### 管理係

(1) 学校の用地、建物等に係る取得及び処分に関する事。

(2) 学校の用地、建物等に係る維持管理に関する事。

(3) 学校に係る物品に関する事。

(4) 学校に係る施設台帳に関する事。

(5) 教員住宅に関する事。

(6) 諸契約に関する事。

#### 学校教育課

##### 教職員係

(1) 課内の庶務に関する事。

(2) 教育職員の人事及び福利厚生に関する事。

(3) 学級編制に関する事。

(4) 教育職員の免状及び履歴書整備に関する事。

(5) 学齡児童及び生徒の就学事務に関する事。

(6) 園児及び児童生徒の就学援助並びに保育料に関する事。

(7) 通学区域の設定及び変更に関する事。

(8) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱に関する事。

(8) 学校諸帳簿の整備監督に関する事。

(10) 教育職員及び児童生徒の身体検査及び福利厚生に関する事。

(11) スクールバスに関する事。

(12) その他学校教育に関する事。

(13) 課内の他係に属さない事。

##### 指導係

(1) 学校給食に関する事。

(2) 教科内容及びその取扱いに関する事。

(3) 学校教育についての指導及び助言に関する事。

(4) 教科用図書採択に関する事。

(5) 教育方法の改善に関する事。

(6) 教育研修及び職員講習会に関する事。

(7) 教育資料の記録収集及び保存に関する事。

(8) 学校の環境衛生に関する事。

(9) 教育職員及び児童生徒の保健に関する事。

(10) 園児の預かり保育に関する事。

(11) 教育相談事業に関する事。

(12) やすらぎ教室に関する事。

(13) 幼保一元化の調整に関する事。

## 社会教育課

### 文化係

- (1) 文化芸術の振興に関する事。
- (2) 文化団体の指導育成に関する事。
- (3) 文化施設に関する事。
- (4) 文化財の保護及び活用に関する事。
- (5) 天然記念物の保護管理に関する事。
- (6) 伝統的建造物群保存地区に関する事。
- (7) 民俗芸能の伝承に関する事。
- (8) 国民文化祭の開催に関する事。

### 生涯学習係

- (1) 課内の庶務に関する事。
- (2) 社会教育、生涯学習の推進に関する事。
- (3) 生涯学習施設及び社会教育関係施設に関する事。
- (4) 社会教育委員に関する事。
- (5) 成人教育、青少年教育及び家庭教育に関する事。
- (6) 人権教育に関する事。
- (7) 視聴覚教育に関する事。
- (8) 生涯学習関係機関、団体との連絡調整及び指導育成に関する事。
- (9) 児童、青少年の健全育成に関する事。
- (10) 課内の他係に属さない事。

## スポーツ振興課

### スポーツ振興係

- (1) 課内の庶務に関する事。
- (2) スポーツ振興審議会に関する事。
- (3) 体育諸団体との連絡調整及び指導育成に関する事。
- (4) 市民体育に関する事。
- (5) 生涯スポーツに関する事。
- (6) 競技スポーツに関する事。
- (7) レクリエーション活動に関する事。
- (8) 体育指導委員に関する事。
- (9) 課内の他係に属さない事。

### 施設係

- (1) 体育施設の整備計画に関する事。
- (2) 体育施設の利用、管理運営に関する事。
- (3) 高梁市都市公園条例(平成16年条例第253号)第9条別表2に定める施設の利用、管理運営に関する事。

## 文化センター

- (1) 文化センター内の庶務に関する事。



- (2) 文化交流館、高梁総合文化会館及び吉備川上ふれあい漫画美術館の利用、管理運営に関すること。
- (3) 文化交流館、高梁総合文化会館の運営委員会に関すること。
- (4) 催事の企画及び実施運営に関すること。

## V 教育委員会の基本方針と目標

### 1 平成21年度基本方針及び教育行政重点目標

社会環境が大きく変化する中で、学校教育をはじめとして、生涯学習やスポーツ、文化芸術活動はますます重要なものとなり、その果たす役割に大きな期待が寄せられています。

特に、本市においては、教育関係の全ての分野において、こうした変化に適切に対応し、生涯にわたり心豊かに、たくましく生きていく意欲と、実践力を備えた、新時代を担う人間の育成が最も重要となっています。

高梁市総合計画では、「交流・創造都市 たかはし」を将来の都市像とし、その実現のため「文化を育み健やかで活力のあるまちづくり」を基本理念として諸施策を推進しています。この基本理念に基づき、高梁市教育委員会は平成21年度において、学校教育、家庭や地域社会の教育、スポーツや、それぞれの地域の特色ある文化芸術活動の活性化など、生涯学習社会の実現に取り組むため、「新しい文化の創造と人を育むまちづくり」を基本方針として、次の5項目を重点目標に、総合的な取り組みをします。

- 1 「生きる力」をはぐくむ学校づくり
- 2 人づくりのための学習環境づくり
- 3 心豊かな人づくり、活力のあるまちづくりをめざした生涯学習の推進
- 4 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり
- 5 暮らしの中にスポーツを／いつでも、どこでも、気軽に

子どもたちが、自ら学び、自ら考える力や、豊かな人間性など「生きる力」をはぐくむ学校づくりのために、子ども一人ひとりを大切にし、基礎・基本の確実な定着を図るなど、人格の完成をめざした取り組みを進めます。

また、生涯にわたって主体的に学習できる生涯学習社会の形成をめざし、体系的・効果的な支援と推進を図ります。

文化行政では、平成22年度開催の「第25回国民文化祭・おかやま2010」に向けて、情報収集に努めるとともに、高梁市実行委員会の運営や事業別実施計画に取り組みます。そして、備中松山城や吹屋伝建地域など、地域固有の歴史遺産や伝統文化の保護・保存とその活用を進めるとともに、公民館活動の積極的な展開を図りながら地域の文化芸術振興にも取り組みます。

さらに、学校教育の充実のため、学校・家庭・地域及び関係機関等との連携を密にし、ながら、教育環境と教育効果の向上をめざします。また、スポーツ振興計画を基に、スポーツ環境の充実・発展に努めます。

これらの諸施策の推進にあたっては、情報発信を積極的に行い、関係機関や教育団体などとの連携を一層緊密にし、広く市民の理解、協力を得ながら、教育行政推進のため積極的に取り組みます。

## 2 教育行政重点目標の施策体系

基本理念	基本方針	重点目標	施策
文化を育み健やかで活力のあるまちづくり	新しい文化の創造と人を育むまちづくり	1 「生きる力」をはぐくむ学校づくり（「確かな学力向上」と「豊かな心の育成」）	教育内容の充実・指導方法の改善（確かな学力向上）
			生徒指導の充実（豊かな心の育成）
		2 人づくりのための学習環境づくり（学習環境の整備）	学校施設の整備
			学校設備の整備
		3 心豊かな人づくり、活力あるまちづくりをめざした生涯学習の推進（生涯学習の推進）	生涯学習の振興
			家庭・地域社会の教育力の充実と連携
			社会教育団体の育成
			人権教育・啓発の推進
		4 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり（地域文化の振興）	芸術文化活動の普及と振興
			文化財の保護・保存
			文化施設の充実
		5 暮らしの中にスポーツを／いつでも、どこでも、気軽に（スポーツ活動の振興）	市民のスポーツ・レクリエーションの推進と健康づくり
			スポーツ施設の整備

## VI 教育行政重点目標の点検及び評価の結果

### 《重点目標》1 「生きる力」をはぐくむ学校づくり (「確かな学力向上」と「豊かな心の育成」)

#### ○重点目標の概要

学校教育は、一人ひとりの子どもたちが、生涯にわたって学び続けるための基礎を培う場である。学校・家庭・地域社会との連携のもとに、自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性など「生きる力」をはぐくむ学校づくりを推進する。そのため、次の2点に重点をおく。

- ① 子ども一人ひとりを大切にしたきめ細かな指導により、確かな学力の向上をめざす。
- ② 人とかかわり、直接自然に触れて学ぶ体験活動等の充実を図ることにより、豊かな心を育む。

さらに、各学校の主体的な学校運営により信頼される学校づくりに努めるとともに、創意工夫を生かした教育活動を展開していく。

#### 〈施 策〉教育内容の充実・指導方法の改善（確かな学力向上）

事業名	事業実施目標	成果・課題等
魅力ある保育・授業づくりの推進 【学校教育課】	①幼稚園教育課程研究園として川面幼稚園を指定。指導訪問を行う。(2回/年) ②県指定「学力向上実践校事業」(落合小・高梁中学校区)の研究授業、研修に出向き指導助言を行う。(5回/年) ③文部科学省指定道徳教育実践研究事業(成羽中)への指導訪問を行う。(4回/年) ④学校教育研修所各部会別研修会を実施し、教職員の資質向上を図る。 ⑤定期及び要請による指導訪問を行う。(全幼・小・中・高等学校)	①「主体的に活動できる幼児の育成」をテーマに研究を深め、幼小連携のもとに研究を進めた。(平成22年度発表) ②「言語活動」の充実をテーマに授業改善に向けて研究を深めた。(平成22年度発表) ③指導訪問では授業研修を中心に実施できた。「体験活動と道徳の時間との関連」をテーマに研究を深め、研究発表会で成果を報告することができた。 ④各教科、領域で講師等を招聘し、研修を進めることができた。 ⑤定期訪問で全幼・小・中・高等学校を訪問指導した。また、各校園のニーズに応じて指導訪問を行った。
幼・小・中連携教育の推進 【学校教育課】	各中学校区での生徒指導推進協議会の取組を充実させることにより、基本的な生活習慣の定着を図り、学力向上に努めていく。	学期に1回、中学校区での協議の場を設け連携を深めることができた。

<p>指導と評価の一体化による個に応じた指導の充実</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>①少人数指導の充実を図る。特に習熟度別による指導を充実させる。(加配教員配置校：高梁小・落合小・成羽小・高梁中)</p> <p>②小1グッドスタート事業(落合小・成羽小)</p>	<p>①個に応じたきめ細かな指導が可能となった。単元によっては習熟度別指導が実施できたが、さらに指導内容の充実について検討が必要である。</p> <p>②配置により、小学校生活へのスムーズな適応が図られている。</p>
<p>幼稚園教育の充実</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>①3歳児保育の充実を図る。(12園で実施)</p> <p>②預かり保育の充実を図る。(10園で実施)</p> <p>③幼稚園教育の校内支援として指導訪問を実施する。</p>	<p>①計画どおり実施できた。少人数の園が多いため、集団で活動することや異年齢集団の関係づくりに効果をあげている。</p> <p>②計画どおり実施できた。教育課程に基づいた教育活動との関連を図るために、指導計画の作成を検討している。</p> <p>③指導訪問は各園1回実施できた。また、研究園については、要請に応じて訪問し、指導した。幼稚園主任者会(年1回)預かり保育担当者会(年1回)を実施し、研修を深めている。</p>
<p>特別支援教育の推進</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>①臨床心理士等の学校派遣・特別支援教育コーディネーター研修会(2回/年)を実施する。</p> <p>②特別支援教育支援員を市内4幼稚園、7小学校、1中学校に1名ずつ配置し、個別の指導の充実をめぐる。</p>	<p>①学校園からの要望により発達障害等の専門家を派遣し、校内の体制づくりや指導に関しての助言を得た。計画に基づき、ほぼ予定どおりの取組ができた。研修会では「個別の支援計画の作成」について取り組むことができた。</p> <p>②配慮を要する幼児・児童・生徒が増加している中、学校によっては、複数の支援員が必要なところもあり支援員配置の要請が増えている。</p>
<p>算数数学アドバイザー、理科支援員の配置</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>①算数数学アドバイザーを津川小・巨瀬小に配置する。</p> <p>②理科支援員を川面小・津川小に配置する。</p>	<p>①複式学級での指導に対応することができた。時間数の関係で打合せの時間の確保が課題である。</p> <p>②理科の実験の準備、片付けなど担任教員だけでは時間的に難しいところを担ってもらうことができた。また、個別の指導ができ、安全に実験を行うことができた。</p>

<p>保健・安全教育の推進と食の指導の充実</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>下記の事業により、保健・安全教育の推進並びに食の指導の充実を図る。</p> <p>①スクールガードリーダー、スクールサポーターとの連携を図る。(全園訪問)</p> <p>②交通安全教室、防犯教室、薬物乱用防止教室等を実施する。</p> <p>③各学校給食センターにおける食の安全、食育、地産・地消に取り組む。</p> <p>④学校給食アレルギー対策の推進、充実を図る。</p> <p>⑤栄養教諭、学校栄養士による食に関する指導を実施する。</p>	<p>①スクールガードリーダー、警察スクールサポーターが学期に1回市内の全校を訪問し、不審者対応や薬物乱用防止等について指導助言をした。今後も継続して安全教育の推進を図る必要がある。</p> <p>②ほぼ計画どおり実施できた。</p> <p>③地産地消の取り組みは、学校給食センターの規模により異なるが、引き続き地元産品の利用促進を図っていく。</p> <p>④保護者、学校と学校給食センターとの連携を進め、一層のアレルギー対応の充実を図っていく。</p> <p>⑤川上中学校において「食」に関する指導の研究会を実施した。学校栄養職員とのTTによる授業公開、研究協議で研究を深めた。今後、栄養教諭の配置を拡大させていかななくてはならない。</p>
<p>地域に開かれた特色ある学校づくりの推進</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>①地域の人材を活かした特色ある学校づくりを全校園で進める。</p> <p>②全ての学校で学校評価(自己評価)を行い、その結果を公表し、市教委へ報告する。学校評議員等による学校関係者評価も検討する。</p>	<p>①各校・園が体験活動、地域の方との交流を充実させるために、積極的な取り組みを展開している。地域の方からも幼児・児童・生徒との交流を楽しみにしているという声が開かれ、双方にとって有効であり効果をあげている。</p> <p>②全ての学校で学校評価(自己評価)を実施し、公表・報告ができた。また、学校関係者評価を実施する学校が増加した。</p>
<p>時代の進展に対応した教育の推進事業</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>①情報教育(パソコン活用)研究校として、有漢東小学校を指定し研究を深める。</p> <p>②市内幼小中高への7名のALT(外国語指導助手)派遣事業を継続し、国際理解教育の推進を図る。</p> <p>③環境・福祉教育を各校で推進する。</p>	<p>①「問題解決の見通しをもち、進んで学習に取り組む児童の育成」というテーマで研究を深め、研究発表会を11月27日に実施した。</p> <p>②ALT派遣事業は各校で好評であり、効果をあげている。小学校における外国語活動のさらなる充実を図る。</p> <p>③特色ある学校づくりの活動として、地域の環境問題や高齢者との交流、福祉</p>

	④教職員の評価システムにより、授業や校務の職務遂行状況を把握し、当初・中間・最終の3回の面談を実施し、目標管理と勤務評価により適切な指導及び助言を行う。	施設の訪問など各校で工夫した活動が行われ、成果をあげている。 ④すべての県費教職員について、面談による目標管理と勤務評価を実施し、資質向上に成果をあげた。教職員の勤務評価への一層の理解と有効な活用が課題である。
人権教育の推進事業 【学校教育課】	①推進体制の確立と指導内容の充実を図る。 ②各中学校区で教職員研修会等を開催する。	①各校・園において、年間計画に基づいた意図的・計画的な指導を進めた。 ②計画どおり実施することができた。人権教育は全校園における重要課題のひとつと捉え、継続して取り組む必要がある。
小規模校再編の取り組み 【学校教育課】	保護者並びに地元との合意形成の取り組み	保護者、地元との協議を計6回実施し、高倉小学校と川面小学校との統合及び高山小学校の廃校を平成21年度中議会へ提案し、議決された。

### 〈施策〉生徒指導の充実（豊かな心の育成）

事業名	事業実施目標	成果・課題等
学校・家庭・地域社会等との連携による生徒指導の推進 【学校教育課】	①問題を抱える子ども等の自立支援事業を実施する。 ②学校ふれあい促進事業で相談事業を行う。(8回/年) ③スクールカウンセラー(全中学校、1小学校)との連携を図る。 ④スクールサポーターを2中学校に配置する。(高梁中、高梁東中)	①学校不応の児童生徒に、体験活動や学習サポートの場を提供し、学校復帰に向けて一定の成果をあげている。 ②やすらぎ教室で計画どおり実施できた。 ③④については計画どおり配置し、効果を上げている。 学校不応の児童生徒への早期対応が今後の課題である。
心を育てる体験活動等の充実 【学校教育課】	①学校・家庭における読書活動を推進する。 ②学校図書館司書を1名増員し、8校に配置する。	①「読書活動で育てる川上っ子の心と言葉」をテーマに掲げ、川上中学校区を中心に授業研究や「川上読書の日」の設定など、研究体制の確立と地域・各校園の連携を深めた。(平成22年度発表) ②学校における読書活動の推進役として活躍している。富家小に新たに1名を配置できた。

	<p>③全中学校で職場体験活動・チャレンジワーク14を実施する。</p> <p>④市内幼稚園、小・中学校の芸術鑑賞推進事業を実施する。</p>	<p>③計画どおり実施。職場体験活動を通して主体的な進路選択能力を養い、職業の社会的な意義や役割について学ぶことができた。日数の確保と市内での受入事業所の新規開拓が課題である。</p> <p>④演劇やコンサートなどに直接ふれることにより、感動的な体験をしている。</p>
--	---	---

## 学識経験者の意見

<p>○文部科学省学習指導要領の「生きる力」には、確かな学力、豊かな心、健やかな体の3つの要素がある。しかし、ここでは、確かな学力と豊かな心の2点から整理されていて、健やかな体については、重点目標5のところで、まとめられている。これで、「生きる力」としての3要素は十分に生かされていて、意義あることである。</p> <p>○重点目標に確かな学力の向上を掲げているが、特に学校の授業を大切に考えていることは評価できる。施策の中で、魅力ある保育・授業づくりの推進を一番にあげて、各学校で授業の研究に取り組まれているが、教職員は大勢の人の前で多くの授業をして、指導していくことが大切であると思う。そうすることによって、教職員の指導力が向上し、子どもたちの学力の向上にもつながる。</p> <p>○習熟度別指導の教職員や特別支援教育支援員など加配の臨時職員が学校へ配属されることで、学校は助かっていると思う。できるだけ継続してほしい。ただし、問題となるのは、臨時職員の指導力である。経験の浅い人が入ったりするので、そういった職員の研修が十分できていないように思う。学校で指導するとか、教育委員会で出向いて研修するなどの取組が必要ではないか。</p> <p>○各事業で確実に成果をあげられている。ただ、支援を必要とする子どもや不登校の子どもなど学校不適應の早期対応を前向きに取り組んでいただきたい。</p> <p>○生徒指導の充実（豊かな心の育成）の施策で、まず第一に掲げる事業としては、道徳教育の充実ではないか。生徒指導の本来の狙いは、よりよい人格の発達をめざすところにある。積極的な目標として、その時その場で何が適切かを自分で考え、自分で判断し、行動に移せる自己指導能力を養うというのが生徒指導の究極の狙いである。</p>
--

## 重点目標に対する評価・課題

<p>前年度に引き続き、本市の子どもの学力向上のために、授業改善や教師の指導力アップにむけて指導訪問、研修会の実施等を重点に事業を進めてきた。今後も各校での検証を踏まえて、基礎学力の定着、表現力の向上に一層力を入れて取り組む必要がある。個に応じたきめ細かな指導を進めるために、習熟度別の少人数指導を研修していかなければならない。また、特別支援教育の視点から、個別の指導計画に基づいて、他機関との連携を図りながら今後も支援を続けていく必要がある。</p> <p>豊かな心を育む活動については、各校園において意図的・計画的に地域の方々とのふれあいや地域の特徴を生かした体験活動が展開されており、成果をあげている。また、学校における読書活動の推進についても、学校図書館司書の配置拡充等を通じて着実に前進が図られている。</p> <p>こうした取組を一層充実・発展させることによって、次代を担う本市の子どもたちの「生きる力」をはぐくんでいかななくてはならない。</p>
--



## 《重点目標》2 人づくりのための学習環境づくり（学習環境の整備）

### ○重点目標の概要

多様化している学習環境と児童生徒の健康と安全性の確保など機能的で特色をもった学校・園の整備充実を図ることを基本として、緊急性、必要性を見極めながら事業効果等も勘案して整備充実をめぐる。

また、既存校舎等で相当年数を経過したものについては、年次的に耐震診断を行い、必要に応じて耐震補強や大規模改造事業を実施して校舎の若返りを図るほか、洋式トイレの増設や障害のある児童生徒に配慮した生活環境整備を積極的に推進する。また、AEDを市内全小学校に配備し、早期に救命処置を行う環境整備を図る。

### 〈施 策〉学校施設の整備

事業名	事業実施目標	成果・課題等
学校施設の耐震化事業 【教育総務課】	松原小学校屋内運動場耐震補強工事 高梁幼稚園 園舎耐震診断 落合幼稚園 園舎耐震診断 上記事業を実施する。	松原小学校屋内運動場耐震補強工事は完了した。また、高梁幼稚園園舎及び落合幼稚園園舎の耐震診断業務も完了し、耐震化事業を計画的に行うことができた。
下水道接続工事 【教育総務課】	高梁東中学校へ下水道の接続工事を実施する。	高梁東中学校へ下水道の接続工事が完了し、衛生環境の向上と快適な生活環境整備が図れた。
学校プール改修工事 【教育総務課】	高梁小学校、富家小学校を実施する。	富家小学校、高梁小学校は、予定どおりプール改修工事が完了し、さらに、国の経済危機対策事業により西山小学校についても実施できた。
幼稚園・小・中学校トイレの洋式化 【教育総務課】	生活様式の変化に対応し、園児・児童生徒が利用しやすい洋式トイレを整備する。	高梁幼稚園、川面小学校、松原小学校の工事を完了し、生活環境の整備が図れた。
学校遊具の修繕整備事業 【教育総務課】	小学校と幼稚園を実施する。	小学校 21 校、幼稚園 13 園で点検を行い、修繕が必要な幼稚園、小学校の遊具の修繕が完了し、安全が確保できた。
その他修繕工事 【教育総務課】	幼、小、中、高の各学校施設内の修繕工事を実施する。	学校からの修繕要望に基づき、緊急性、安全性など事業効果を見極めて実施した。

## 〈施 策〉 学校設備の整備

事業名	事業実施目標	成果・課題等
AED 設置事業 【教育総務課】	市内の全小学校へ AED を配備する。	市内全 21 小学校へ 1 台ずつ配備できた。昨年度とあわせ市内全小中学校へ配備ができ、早期の救命処置を行う環境整備が整った。

## 学識経験者の意見

<p>○トイレの洋式化など生活様式の変化に対応する施設設備に改修されているが、特に最近では、トイレの自動水洗や蛇口の自動化など、全てを生活様式にあわせると便利になりすぎる面もある。平均的な面で遅れすぎているものを改修していくということは必要なことであり、無駄遣いにならないと思う。</p> <p>○車椅子を必要とする子どもがいる学校は、どこでも通れるように配慮していると思うが、そういった子どもがいない場合でも、ケガをして途中から車椅子を使わないといけなくなった場合などがあるので、1つの見通しをもって、整備にあたってほしい。</p> <p>○幼稚園に行くことがあるが、子どもたちが安心して遊べる遊具になったり、トイレが整備されたり、行くたびに環境整備がなされておりありがたいと感じている。子どもたちが健康で安全に、特に支援を必要とする子どもが安心して生活できるように今後も改善をお願いする。</p> <p>○「環境は人をつくる」と言われるように、人づくりのために「学習環境づくり」は非常に大切なことである。子どもたちが安全で安心して学校生活を過ごせるように、耐震化事業、学校プールの改修、学校遊具、施設の修繕など積極的に行われていることに感心した。</p> <p>○今後とも、遊具等での子どもの事故がないように努めてほしい。校長・職員の毎日の安全点検を徹底してほしい。その際、できれば子どもも一緒に点検し、「自分の身は自分で守る」という意識を子どもに養うことも重要である。</p> <p>○通学路においても子どもたちが安全に通学できるよう、学校と地域ボランティアや関係機関との連携による地域ぐるみで子どもの安全を守る環境の整備とともに、子どもたちが安全に行動できるよう、保護者を含め、学校をあげて、万全を期した事故防止に努めてほしい。</p>
--

## 重点目標に対する評価・課題

<p>児童・生徒等の安心・安全の確保を最優先とし、学校（園）施設の耐震化事業を計画的に実施した。予定どおり完了し、耐震化率（79.8% H22.4.1現在）の向上が図れた。また、今年度は、補正予算により国の交付金事業である地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び安心安全な学校づくり交付金事業を実施し、懸案であったプール改修工事や屋内運動場の床塗装工事などの修繕工事や、市内全学校園に地上デジタル対応テレビの設置、また、小中学校の教職員へ授業用パソコンを配備し、ネットワークの構築を行うなど、学校の安全性の確保と快適な学習環境整備が図れた。さらには、高梁小学校、川面小学校、川上小学校、高梁中学校に太陽光発電施設を設置し、導入効果を生かし、児童生徒に省エネや地球温暖化問題への理解の促進と啓発が図れた。今後も引き続き、老朽化による改修や耐震補強工事など教育環境の整備を計画的に進めていきたい。</p>
---

### 《重点目標》3 心豊かな人づくり、活力あるまちづくりをめざした生涯学習の推進 (生涯学習の推進)

#### ○重点目標の概要

国際化・情報化の進展、生活環境の向上、少子高齢化など社会環境の急激な変化により、心の豊かさや生きがいのための学習ニーズが高まっている。また、いじめや不登校、子育てに悩む親など現代社会の諸問題に対応して、家庭や地域の教育力の向上やネットワークの構築が叫ばれている。

昨年度から家庭や地域の教育力向上のため、放課後子ども教室推進事業、学校支援地域本部事業、家庭教育推進基盤形成事業に取り組んでおり、今年度もその成果を引継ぎ、また、発見された課題を解消するために継続して実施する。家庭教育推進基盤形成事業は、名称が訪問型家庭教育相談体制充実事業と改められ子育てに悩む家庭等を訪問することにより、積極的かつきめ細やかな相談体制の充実を図る。また、誰でも学習できる機会の提供、家庭・地域の子育てに対する支援、関係者のネットワークの構築のため公民館フェスティバル、子育てフェスティバル、わくわく読書まつりを開催し、心豊かな人づくりと活力あるまちづくりをめざす。さらに、人権を基調にし、明るく住みよい社会の実現に努める。

#### 〈施 策〉生涯学習の振興

事業名	事業実施目標	成果・課題等
社会教育委員会議 【社会教育課】	年間に取り組む社会教育事業の展開に向け、その方針・施策を示し委員から意見を聴取し、事業に取り組む。	会議を5月に開催し、各委員から平成21年度の事務事業に対し提言や助言を得た。
公民館活動の推進 【社会教育課】	市内の各公民館に運営審議会を設置して事業計画、運営方針等を協議し公民館活動の推進を図る。	各公民館において、それぞれ特色ある講座を開設し、研修活動等が活発に実施できた。全公民館で約400講座開設することができた。
高梁市公民館フェスティバル2009 【社会教育課】	市内の全公民館が参加し、生涯学習の成果発表と相互の交流を図る。	市内全15公民館から展示の部へ500点、発表の部へ23組・200名の参加があり、学習成果を発表することができた。 また、2日間の開催で延べ600名が入場し、見学した。
高梁市魅力再発見事業 (高梁すきすき探検隊2009) 【社会教育課】	夏休み期間を利用し、小学3・4年生40人を対象に市内の施設や観光地を見学し、また各種の体験活動を通して高梁の魅力を再発見する。	児童がこれまで知らなかった高梁市の史跡・観光スポットの見学や体験などを通して高梁のよさを再発見することができた。
成人式運営事業 【社会教育課】	成人の日の前日の半日行事として開催する。市外の方も参加希望があれば受け入れる。成人者による実行委員会を組織し、記念行事を実施する。	記念行事は、実行委員自らが企画・運営を行い、参加者全員を巻き込んだの参加型行事を行うことができ、大変好評であった。(当日出席者289人)

<p>生涯学習まちづくり「出前講座」の実施</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>市民の自主的な生涯学習活動を支援するため、市職員が講師となり出向いて話をする。いつでも、どこでも、誰もが学習できる機会の提供を行う。</p>	<p>3団体、5回の出前講座を実施した。自主的な講座を行うことで、学習意欲を高めることができた。講座内容の検討・充実を行うことや、他課と連携を行い広報活動に努める必要がある。</p>
<p>童謡まつりイン高梁</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>童謡の良さについて、市民をはじめ多くの方に広めるため、市内の合唱団を中心とした童謡の発表会を開催する。また、高梁で生まれた新しい童謡の発表・市外合唱団の招待等を行い、音楽・文化を通して世代を超えた交流の輪を広げていく。</p>	<p>市内全域から21団体、市外から招待合唱団1団体が参加した。当日は延べ1,100人の参加があり、童謡によるまちづくりを広く周知することができた。今後も、市内全地域にある合唱団の参加により開催していきたい。</p>
<p>有漢地域生涯学習推進大会（有漢公民館）</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>市民の生涯学習活動を支援するために、生涯学習推進大会を開催する。</p> <p>実践発表として、有漢公民館で行っている「放課後子ども教室」の成果と「連続講座」の成果として、詩吟を発表する。また、高橋元太郎さんを招き、記念講演を行う。</p>	<p>記念講演を行い、約250名の方の参加があった。また、うかん文化祭との連携により、地域の生涯学習活動を支援することができたが、大会スタッフが少ないことや、事業効果、費用対効果を高めるため、今後は市内の近隣地域を巻き込んだ大会運営が必要である。</p>
<p>異文化交流会（成羽公民館）</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>外国からの留学生（吉備国際大学）を招き、地域（成羽地域）の歴史を学び、更に日本古来の文化としての「ちらし寿司作り・お茶の作法」を体験し、「日本舞踊・琴の演奏・傘踊り」を鑑賞し、また参加者全員で懇親を深め交流を通して日本と留学生の国の週間等を理解し合う。</p>	<p>吉備国際大学留学生9人と公民館関係、食の指導者など34人の参加があり、ちらし寿司体験・成羽地域紹介・懇親会・アトラクションなど変化に富んだ内容で盛会に実施できた。</p>
<p>川上まちづくりセミナー（川上公民館）</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>地域づくり、まちづくりの推進を図るうえでリーダーを一人でも多く育成することを目的にセミナーを開催する。</p>	<p>全5回の講演会を開催し、まちづくりの手法や地域を活性化する企画力を持った人材を育成していくためのきっかけづくりができた。</p>
<p>人づくり講演会（備中公民館）</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>心豊かな人づくり、活力あるまちづくりの一助にするため、講演会を開催する。</p>	<p>多くの参加者が集まり、生涯学習の場としての役割が定着した。</p> <p>講師：ダニエル・カール氏</p> <p>演題：『ダニエルの日本見聞録』</p> <p>参加者 250人</p>

〈施 策〉家庭・地域社会の教育力の充実と連携

事業名	事業実施目標	成果・課題等
放課後子どもプラン(国補助)の実施 【社会教育課】	有漢、成羽、川上で放課後子ども教室を実施する。総合的な放課後対策を円滑に実施するために、学童保育関係者、学校教育関係者を含めた運営委員会を組織し、事業の検討・評価を行う。	3教室でそれぞれ体験活動や学習支援を行うことができ、参加者から好評を得ている。総合的な放課後対策を推進するために学童保育との連携を深めていく必要がある。
訪問型家庭教育相談体制充実事業(国委託) 【社会教育課】	家庭の教育力の向上を目的に、川上地域をモデルとして、きめ細かな家庭教育支援を行うために相談体制の充実を図る。	川上地域家庭教育支援チームが「子育てサロンゆーほー」を中心に、相談事業、交流事業を実施し、また、チーム員自身のスキルアップ研修会を2回開催した。サロンが子育てに悩む親の相談場所としての認識度を上げている。
子育てふれあいネットワーク事業 【社会教育課】	子育てに関する諸問題を検討し、市民生活部局と連携し子育てサポーターの養成やボランティアを対象とした研修会など必要な事業を実施する。	市民生活部局のブックスタート事業と連携し、読み聞かせボランティア養成事業を実施した。関係者のネットワークの構築が図られ地域教育力の向上につながっている。
子育てふれあいフェスティバル&わくわく読書まつり 2009 【社会教育課】	「地域の宝」である子どもたちを、家庭・学校・地域みんなで育てるために子育てに関する者が一堂に会し、研修を深め、ネットワークの構築を図るとともに読書も子どもたちのライフスタイルの中に位置づけられるように一層働きかけることを目的とし開催する。	僧侶の川村妙慶さんによる教育講演会を中心に、子育てに関するワークショップや子どもたちを対象にした体験活動コーナーや読書のおはなし会などを実施し、600名の来場者があった。
学校支援地域本部事業(国委託) 【社会教育課】	学校の先生の負担軽減のため、環境整備、安全パトロールや学習活動支援など側面的な学校支援を行う。地域教育力の向上のため公民館を中心とした人的なネットワークを活用する。	巨瀬小学校区で実施。学校と地域が綿密に連携することにより、子どもと大人の結びつきが生まれ地域の教育力の向上が図られた。また、教員の業務量も軽減され、本来の職務に専念できている。
家庭・地域教育講演会 【社会教育課】	子育てふれあいフェスティバル&わくわく読書まつり 2009事業の一環として教育講演会を実施する。	学校関係者をはじめ多数の聴講があった。講演後アンケートを実施し、それぞれの立場で子育ての大切さを認識することができた。
家庭教育学級・乳幼児学級 【社会教育課】	子どもの年代に応じた家庭教育や子育てに悩む保護者の支援を目的に『子育て講座』を開催する。今年度は、親子のふれあいと食育をテーマに講座を実施す	子育て講座においては、年3回、親子延べ72名の参加、乳幼児学級については、年16回28家族の参加があった。参加した親子同士の交流や、家庭での子ども

	<p>る。</p> <p>また、就園前児童の保護者が一人で悩むことが無いよう保護者同士の交流を目的に『乳幼児学級』を開催する。</p>	<p>もとの接し方、遊び方などの学習を通して、保護者の悩みの軽減を行った。今後も継続的に行うことにより、一人で悩むことがないように情報・学習機会の提供と保護者同士の交流を行う。</p>
<p>通学合宿事業（有漢公民館）</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>子どもの生きる力、自主性・自発性を養うことを目的に4泊5日の期間で、有漢東・西小学校児童の内、希望者14名が公共施設に宿泊しながら学校へ通学する。</p>	<p>参加児童、参加保護者共に合宿に参加しないと得られない体験ができたこと好評であった。当該事業効果は高く、他地域でも取り組むことが好ましい。</p> <p>しかし、事業スタッフが少なく、事業実施者側の負担が大きいため、今後、運営体制について協議していく。</p>
<p>サマーなんでも体験（成羽公民館）</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>夏期休暇中に学校や家庭で日頃味わうことのできない様々な体験活動を通して、子ども自身の自主性や感性を養うことを目的に実施する。</p>	<p>スポーツ活動を中心に、延べ5回で171人の小学生が参加した。学童保育や放課後子ども教室の児童とも合同で開催した。</p>
<p>にこにこファミリースクール（親子体験講座）（川上公民館）</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>親子のふれあいの場、体験活動の場として実施する。内容は、ものづくり活動。</p>	<p>家庭教育の充実を目的に実施し、ある程度の成果は見られた。しかし、参加者の減少、固定化などの課題もあり、事業自体の見直しが必要である。</p>
<p>親子ふれあい教室（備中公民館）</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>親子で共に学習する機会として川辺の学習会、親子で楽しむ音楽会、読み聞かせ会を開催する。</p>	<p>親子で自然体験や優れた芸術鑑賞、読書体験等に触れることにより、豊かな感性を育み、情操を養う一助になった。また、子育て中の親同士や地域の人々との親睦が図られた。</p>

### 〈施策〉社会教育団体の育成

事業名	事業実施目標	成果・課題等
<p>婦人教育推進事業</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>婦人の教養と地位向上及び地域の活性化に取り組む婦人協議会に対し、一層の活動と健全な運営のために補助金を交付するとともに、研修会及び婦人大会を開催する。また備北地区婦人大会、県婦人大会、役員研修会等に参加する。</p>	<p>研修会・婦人大会等において、会員同士の交流を行うとともに、教養を深めた。また、婦人会の地域における役割は大きく、婦人会の活動は、地域づくりの柱のひとつでもあり、今後も事業を行っていく必要があるが、団体数や会員数の減少などの課題もある。</p>
<p>青少年健全育成事業</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>少年団への支援として活動助成金の交付や交歓大会を実施する。</p>	<p>スポーツ活動、体験活動、清掃奉仕活動等を通じて、青少年の健全育成が図られている。また、地域住民との交流が図</p>

		られ、地域の教育力の向上につながっている。
高齢者学級「いきいき快老教室」(川上公民館) 【社会教育課】	住民福祉係と連携し、高齢者の生きがいづくりとして、要望のある地域で実施する。21年度は2会場で体力テストを行う。	出前講座として実施しているが、定着している地域とそうでない地域があり、PR活動や地域の実情に即した事業内容の検討が必要である。

### 〈施 策〉人権教育・啓発の推進

事業名	事業実施目標	成果・課題等
推進体制の確立(啓発のための調査研究) 【社会教育課】	人権啓発推進委員会を年3回実施し、人権に関わる事業の企画検討、研修会等を実施する。また啓発講演会、リーフレットの作成、視察等の検討を広報啓発専門委員会(年2回)で行う。	「市人権啓発推進指針」に基づき、人権諸事業の具体的方策を示すことができた。また、研修会では、笠岡市認知症介護研修センターを視察し、高齢者の人権問題に関することについて、理解を深めることができた。
指導者の養成 【社会教育課】	子どもや女性、外国人などに関する人権問題の解消と指導者養成のため、人権問題学習講座を年6回開催する。	延べ674名が受講し、内4回以上の受講者19名へ修了証書を授与した。毎回100名前後が受講し、市内各地域からの参加があり、事業として定着し、成果をあげている。
人権教育・啓発に関わる諸事業 【社会教育課】	市内全校園で、PTA人権教育研修事業、子どものエンパワーメント育成事業や就学前人権教育推進事業などを各校園等で実施する。また、企業等人権啓発研修会や啓発ビデオの貸出を行う。	PTA人権研修会は、全校園で年1回実施しており、人権問題に関する認識が深まっている。また、企業等人権啓発研修会を5回実施し、啓発ビデオの貸出本数は7本であった。

### 学識経験者の意見

<p>○様々な事業が計画実施されているが、イベント等へ参加する人の固定化や無関心である人がいるということは、非常に残念である。多くの方が参加できる工夫が必要である。</p> <p>○学校教育課では読書指導をして、社会教育課では読書まつりをしているので、事業を行う課は違っても、何かつながりをもって、一貫性のある取り組みが必要ではないか。読書以外の事業についても、言えることである。</p> <p>○改訂教育基本法第3条(生涯学習の理念)の規定を、きちんと踏まえて、様々な施策が講じられ、実践されていて感心した。生涯学習社会の中で、学校教育と社会教育の接点としての「放課後子どもプラン」の充実のために、1つの案を提言してみたい。公民館活動の中に、保護者等を対象にした算数教室、国語教室などを開設し、そこで、保護者は、小学校の算数、国語等について算数教室や国語教室の専門家等から1年間指導を受ける。終了した保護者は、その成果を「放課後子どもプラン」の中で、実際の小学生に指導することにより生かす。保護者にとっては、学ぶ喜びとともに、教える喜びを味わえる。これがまさに生涯学習である。</p>
---

## 重点目標に対する評価・課題

平成21年度は、家庭・地域社会の教育力の充実と連携を深めるため、子どもたちの総合的な放課後対策として放課後子どもプランの実施、子育てに悩む親の相談体制の充実を図ることを目的に訪問型家庭教育相談体制充実事業の実施、地域教育力の向上と教員の負担軽減のための学校支援地域本部事業などを実施し、学びを通じた人づくり・地域づくりの推進が図られた。しかし、参加者の固定化や諸事業に無関心な人へのPRなど周知・拡大に努めることが課題である。

人権教育啓発事業では、「高梁市人権教育啓発推進指針」に基づき諸事業を実施した。平成21年度は、国の委託事業として、指導者養成や市内の全校園で取り組んでいるPTA人権教育研修などがより効果的に実施することができるよう、啓発の手法について調査研究に取り組み、成果を得ることができた。



《重点目標》 4 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり  
(地域文化の振興)

○重点目標の概要

高梁の自然や歴史、風土に深く関わってきた文化を大切にしながら、生涯を通じて、文化に親しむ環境づくりを進めるとともに、個性のある文化の創造をめざす。

そのために、市民の文化芸術活動の振興と、郷土の伝統文化の保存伝承や、貴重な文化財を保護・保存していくとともに、これらを活用したまちづくりを推進する。

〈施 策〉 芸術文化活動の普及と振興

事業名	事業実施目標	成果・課題等
優秀芸術鑑賞 <b>【文化センター】</b>	高梁総合文化会館において、中央の優秀芸術を招致し、市民に質の高い舞台芸術に触れる機会や出会いと感動、また心の豊かさを実感できるステージを提供できる自主文化事業を実施する。	心の豊かさが求められている時代に、文化芸術活動を発信する拠点施設として、中央の優秀芸術の招致、魅力ある文化芸術事業の推進に取り組み、誰もが音楽や演劇等を気軽に、身近に鑑賞できる機会をつくることができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・財津和夫ライブ&amp;トーク (6/7) 入場者数 594 名</li> <li>・ベンチャーズジャパンツアー(9/3) 入場者数 296 名</li> <li>・松竹大歌舞伎公演 (9/17) 入場者数 1,024 名</li> <li>・由紀さおり・安田祥子童謡コンサート (10/17) 入場者数 435 名</li> <li>・桂文珍 独演会 (12/12) 入場者数 378 名</li> <li>・なつかしの優秀映画 (3/13・14) 入場者数 107 名</li> <li>・劇団「四季」ファミリーミュージカル (2/20) 入場者数 560 名</li> </ul> 課題としては、チケット販売等の事業収入拡大へ、より一層の努力が必要である。
地域の創作活動の推進 <b>【文化センター】</b>	市民や文化団体の主体的な芸術文化活動を支援、育成し、文化芸術活動の発表の場を設け、文化活動に参加する市民同士が交流し、活動を刺激するような創造と出会いの場を提供することにより、地	市民参加型の自主事業として、市民に文化芸術活動の発表の場を提供することにより、それらの推進や交流を促進するため次の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 21 回三曲演奏会(6/21)</li> </ul>

	域からの文化芸術活動の推進や交流を促進する。	<p>入場者数 420 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 20 回高梁コーラスフェスティバル (11/29) 入場者数 400 名</li> <li>・第 9 回高梁市文化講演会(1/24) 入場者数 636 名</li> </ul>
高梁市文化交流館の事業 【文化センター】	高梁市文化交流館において、地域の若者の音楽活動の発表の場、交流の場を提供し、サウンドフェスティバル 2010-in たかはしを実施する。	<p>地域の若者に音楽活動発表の場を提供することにより、参加者自ら舞台づくりに参加し、自らの手で舞台を企画・運営・出演する機会を与え、若者の交流の機会・創作活動の場を提供することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サウンドフェスティバル 2010-in たかはし(2/7)を開催 入場者数 193 名</li> </ul>
高梁市歴史美術館（企画展・特別展の開催） 【文化センター】	高梁市は歴史的な人物や文化人ゆかりの地であり、豊かな歴史や文化を育んできた。こうした高梁で育まれてきた歴史、文化を体系的に県内外に広く紹介するため、高梁市ゆかりの人物や歴史を題材にした特別展・企画展を開催する。また、高梁市のいろいろな分野の美術品の鑑賞の機会を広く紹介した展覧会を開催し、高梁市独自の文化・歴史を県内外に紹介する。	<p>高梁市歴史美術館において、高梁の歴史や文化を題材にした企画展・特別展を次のとおり開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「山田方谷の世界展」 (4/11～6/28) 入場者数 909 名</li> <li>・企画展「景年書作展」(7/18～8/2) 入場者数 82 名</li> <li>・特別展「平松利昭と三人の「師」展」 (8/15～9/23) 入場者数 731 名</li> <li>・第 60 回岡山県美術展覧会 (10/1～10/5) 入場者数 689 名</li> <li>・特別展「老中板倉勝静とその時代」 (10/24～11/29) 入場者数 612 名</li> <li>・企画展「アートの今・岡山 2009」 (12/5～12/20) 入場者数 214 名</li> <li>・特別展「清水比庵の世界」(1/16～3/22) 入場者数 424 名</li> </ul>
高梁市成羽美術館（企画展・特別展の開催） 【社会教育課】	企画展・特別展等を開催することにより、市民の美術に関する知識・教養の向上に寄与することを目的とする。	<p>児島虎次郎作品の常設展示のほかに、春の企画展、夏の企画展、特別展等の多彩な企画を開催した。また、市内小中学生による「児島虎次郎を偲ぶ絵画展」も行き、成果が得られた。課題として美術館の建物・設備等が老朽化しており、大規模な修理が必要な時期にきていることがあげられる。</p>

<p>吉備川上ふれあい漫画美術館の事業</p> <p>【吉備川上ふれあい漫画美術館】</p>	<p>漫画の持つ奇想天外な発想、そこから生まれる「夢とロマン」あふれるまちづくりを実施するため体験教室・漫画グランプリ・年賀状コンテスト及び各展示会を実施し、漫画美術館への集客及び高梁市のPRを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み！ワクワク手作り体験教室 夏休み期間の土日に14日開催し402人の参加者があった。</li> <li>・第19回吉備川上漫画グランプリ 「のぼる（上る・登る・昇る）」というテーマで募集し、全国から1,240点の作品が集まった。</li> <li>・第19回吉備川上漫画グランプリ優秀作品展（10/24～11/29）</li> <li>・漫・賀・年賀状コンテスト2010 「寅（とら）」というテーマで募集し全国から858点の作品が集まった。</li> <li>・漫・賀・年賀状コンテスト2010作品展示会（1/19～2/21）</li> <li>・春休み！ワクワク手作り体験教室 春休み期間に5日開催し134人の参加者があった。 事業参加者数は前年並、または、それ以上であり一定の成果が出ている。</li> </ul>
<p>伝統文化の伝承</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>備中神楽及び渡り拍子の伝承を図るため、それらの保存育成団体の活動支援を行う。</p>	<p>伝統芸能の備中神楽及び渡り拍子は、後世に伝承していく責務があり、今後も活動支援を行う必要がある。</p>
<p>文化活動の推進</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>各文化協会の地域に根付いた文化活動への支援を行う。また、文学の創作活動を奨励し、豊かな地域文化の振興を図ることを目的に「高梁市文学選奨」を実施する。</p>	<p>各地域文化協会への支援を継続していく必要がある。また、「高梁市文学選奨」を小説随筆等、詩、短歌、俳句、川柳、童謡作詞の6部門で実施した。文学選奨は、市民の文学創作活動の場として定着しつつあるが、応募数が減少していることが課題である。</p>
<p>「第25回国民文化祭・おかやま2010」の開催準備</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>平成22年秋の「第25回国民文化祭・おかやま2010」に向けて、高梁市主催事業（童謡フェスティバル・神楽フェスティバル・漫画フェスティバルの3事業）の開催準備を進める。</p>	<p>平成21年度には、高梁市実行委員会及び事業別企画委員会を開催し、童謡フェスティバル、神楽フェスティバル、漫画フェスティバルそれぞれの開催要項に基づき、出演団体を内定するとともに、事業ごとの実施計画（案）を作成した。今後は、平成22年秋に向けて、各フェスティバルの具体的な企画や会場計画等、関係団体等との調整を図りながら開催準備を進めていく。</p>

〈施 策〉文化財の保護・保存

事業名	事業実施目標	成果・課題等
文化財等の保存整備 【社会教育課】	史跡備中松山城跡整備事業として、小松山城跡、天神の丸跡、大松山城跡の保存整備、吹屋伝統的建造物群保存地区家屋保存事業として旧片山家住宅の防災施設整備ほか伝建家屋の保存修理を実施していくとともに、歴史的町並み保存地区の整備をする。また、天然記念物管理事業として臥牛山のサル生息地の保護管理を図る。	指定文化財の保護保存及び整備事業は、今後も永年的に継続していく必要がある。また、天然記念物の保護管理事業では、サルの専門家や有害鳥獣担当課と連携し、猿害防止対策に努める必要がある。
文化財の調査・活用 【社会教育課】	整理後の指定文化財について再確認を行い、保護・保存を図る。	市指定文化財の新規指定候補を順次調査し、新たな指定を進めていく必要がある。
歴史文化講座の開催 【社会教育課】	地域の歴史文化を再認識し、地域の文化性を育てる。	発掘調査した天神の丸跡の現地説明会を行い、15名の参加があった。

〈施 策〉文化施設の充実

事業名	事業実施目標	成果・課題等
市民の文化教養・生涯学習の拠点施設の充実 【高梁中央図書館】	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の自発的な学習要求に応える図書館サービスと余暇の時間における学習活動の支援をする。</li> <li>豊かな心の育成・生涯学習社会へ向け、蔵書の充実を図るため、郷土資料の収集、情報化時代の資料等幅広い資料の収集に努め提供する。</li> <li>図書館システムをリニューアルし、他の図書館・室とネットワークシステムを構築し、サービスの向上及び各館・室との連携強化を図り、統合後の図書館サービスのPRに努め、読書への興味を起こし、利用者増加を図る。</li> <li>移動図書館車を有効に活用し、学校支援並びに読書推進活動の支援を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書冊数 84,915 冊 内訳（一般 61,153 冊、児童 23,762 冊）</li> <li>図書購入状況等 2,960 冊 内訳（購入 2,633 冊、寄贈 327 冊）</li> <li>入館者数 24,425 人</li> <li>緊急経済対策事業にて移動図書館車の更新を行い、移動図書館事業（貸し出し・配本）の充実を図った。 積載可能図書数 1,200 冊→1,600 冊</li> <li>緊急雇用創出事業にて中央図書館、成羽図書館の蔵書 34,814 冊をデータ化し、今後のシステム化に備えた。 高梁中央図書館 16,698 冊 成羽図書館 18,116 冊</li> <li>漢籍等特殊資料整備推進事業 高梁市立中央図書館所蔵古書「魚水実録」の書き下し文等作成</li> <li>こどもたちや成年層の読書離れに対して、パソコンの普及に伴いインターネットの利用等、利便性の向上が課題である。</li> </ul>
教養講座等の開催 【高梁中央図書館】	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の自発的な学習意欲、余暇時間の学習活動の支援をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども読書支援事業（3/20） さこももみ講演会&amp;絵本原画展</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援及びボランティア活動の支援並びに生涯学習支援をする。</li> <li>朗読ボランティアの活動支援をする。</li> </ul>	<p>(絵本作家) 親子で 20 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典文学講座 赤羽 学</li> <li>ストーリーテリング講座 森元喜美江</li> </ul> <p>古文書研究会、市史を読む会、朗読の会等</p> <p>毎月 1 回開催し 10～15 名の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、各講座の会員募集と若年齢層への文化の継承を推進する必要がある。</li> <li>月 1 回読み聞かせボランティア養成講座を開催し、こども支援の読書ボランティア等の育成を図った。</li> </ul>
高梁市郷土資料館収蔵資料の整理 【社会教育課】	収蔵品について引き続き、系統だった整理、展示替えを実施する。	吉備国際大学、たばこと塩の博物館と連携して、高梁市郷土資料館の特徴ともいえるたばこ部門の充実に向けて、展示替えを行った。また、収蔵品の台帳を整理し、データベース化していく必要がある。

## 学識経験者の意見

<p>○「歴史と文化の香り高い高梁市」の特徴を生かした、特に、高梁市の中で、それぞれの地域性を生かした様々な取り組みがなされている。今後も、高梁市の宝である歴史と文化に触れることを通して、市民のふれあいの場となり、高梁市の良さを再発見し、郷土を愛する心の育成に努めてほしい。</p> <p>○歴史美術館など文化施設について、子どもたちが積極的に来館できるように工夫が必要だと思う。成羽美術館では子どもを対象にしたイベントをしていると聞いている。</p> <p>○図書館利用者の増加を図るため、システムのリニューアルや移動図書館など努力している。幅広い年齢層や広い分野まで、多くの利用者のニーズに応えられるよう、蔵書の充実やサービスの向上に努めてほしい。</p>
--

## 重点目標に対する評価・課題

<p>文化センター、成羽美術館では質の高い文化芸術を身近に鑑賞できる機会を提供することができた。</p> <p>また、文化財の保存・保護については、特に、備中松山城では石段の補修、天神の丸跡の発掘調査を行い、旧片山家住宅では、防災施設の整備を行った。今後は、こうした文化遺産のさらなる活用を図っていく必要がある。伝統文化の伝承については、備中神楽および渡り拍子の保存会・育成会に対して活動経費等の補助金を交付するなど支援した。伝統芸能は地域特有の文化であり、郷土の誇りであるため大切にしていかなければならない。</p> <p>平成 22 年秋の「第 25 回国民文化祭・おかやま 2010」開催に向けて、事業内容の決定や出演団体の内定等、準備が進んでいるが、市民総参加で成功させるためにも、積極的な広報宣伝活動が必要である。</p> <p>重点目標である「地域文化の振興」を目指して、市民の文化芸術活動の振興と、文化財の保護・保存、伝統文化の保存伝承を推進し、さらなる地域文化の振興を図ることが重要である。</p>
---

《重点目標》5 暮らしのなかにスポーツをいつでも、どこでも、気軽に  
(スポーツ活動の振興)

○重点目標の概要

生涯スポーツ社会の実現のため、市民が様々なスポーツに触れる機会を提供し、市民生活において、スポーツがより身近なものになるよう支援を行う。

高梁市体育協会や総合型地域スポーツクラブ「たかはしコミュニティスポーツクラブ<ピオーネ>」を育成、支援し、生涯スポーツに対する市民の意識高揚を図る。また、スポーツ活動をさらに推進するため、中国地区・全県レベルの大会やスポーツ講習会・スポーツ教室など、全市規模の大会・教室の開催を実施する。

国民的スポーツとして人気の高まっているサッカーは、地元大学クラブを筆頭に競技人口が増加しており、こうしたニーズに対応するため神原スポーツ公園多目的広場の整備を行い、健やかで活力のあるまちづくりをめざす。

また、有漢農村公園多目的広場を硬式並びに軟式野球の公式試合が可能なように機能の充実を図り、地元利用者への利便性を高めるとともに、スポーツ施設としての利用拡大を図る。

〈施 策〉市民のスポーツ・レクリエーションの推進と健康づくり

事業名	事業実施目標	成果・課題等
競技スポーツの開催 【スポーツ振興課】	競技力の向上をめざし、高梁市体育協会への委託事業を通して各種競技スポーツ大会を開催する。	高梁市体育協会では、年間 100 大会を開催し、参加者数は延べ 10,920 人にのぼる。 「各種競技スポーツ大会」には、多くの参加者が集い、競技力の向上と親睦を兼ねて成果が上がっていると考えられる。 体協各普及推進部においても、多くの競技大会が開催され、多くの参加者を得ることができた。 課題としては、それぞれの大会の自主的・自立的な運営にむけて、ますます努力していくことが求められる。
スポーツ講習会の開催 【スポーツ振興課】	技術の向上をめざして全国レベルのトップ選手を招へいし、各種「講習会」を行う。	○「講習会」 ・「バレーボール講習会」(170名) 岡山シーガルズ ・「少年野球教室」(100名) 倉敷オーシャンズ ・「ソフトテニス講習会」(81名) 吉備国際大学ソフトテニス部 ・「サッカー講習会」(40名) 湯郷ベル

		<p>各種スポーツ「講習会」においては、参加した市民の競技力向上、技術の習得に役立ったという点が一番の成果である。有名な選手の指導を受けたり、基本的な技術を教えてもらったりすることは、その競技をより理解し、スポーツを好きになる動機付けにもつながっている。</p> <p>課題としては、参加する側と、指導する側の日程調整が難しい点である。</p>
<p>スポーツ教室の開催</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>市民スポーツ団体が指導する各種「教室」を行う。</p>	<p>○「教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高年ニュースポーツ教室（4 婦人会 138 名）</li> <li>・硬式テニスなど 7 種目にわたる「スポーツ教室」（246 名）</li> <li>・健康増進施設を使用した「ファミリー水泳教室」（13 名）</li> </ul> <p>課題としては、参加者が固定化してくる傾向にあり、新規参加者が少ないという点があげられる。広報活動を十分して参加者の掘り起こしを行う必要がある。</p>
<p>スポーツ・レクリエーションの推進と健康づくり</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>①生涯スポーツを担う高梁市体育指導員を育成するため、中国体指・全国体指など各種研修会・研究会に参加する。</p> <p>②健康づくりを目的に開催する。</p> <p>③各地域でスポーツ大会を開催する。</p>	<p>①地域の体育振興に体育指導委員が大きく寄与しているが、研修会・研究会、全体での体育行事への参加者が固定している。今後は体育指導委員の人員等を含め、そのあり方について検討が必要である。</p> <p>②健康づくりを目的に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛らぶ高梁ふれあいマラソン大会（933 名）</li> <li>・なりわ健康マラソン(351 名)</li> <li>・高梁市ニュースポーツ大会(50 名)</li> <li>・有漢町球技大会(300 名)</li> <li>・成羽町民スポーツ祭グラウンドゴルフ大会(288 名)</li> <li>・川上町ソフトボール大会(150 名)</li> <li>・備中町グラウンドゴルフ大会(496 名)</li> </ul> <p>③各地域でスポーツ大会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生を対象にした高梁市小学生ドッジ</li> </ul>

		<p>ボール大会(322名)</p> <p>・公民館対抗親睦ソフトボール大会 (258名)</p>
<p>大学等との連携</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>吉備国際大学と連携事業した「ジュニアスポーツスクール」を行う。</p>	<p>吉備国際大学との連携事業として、後期試験の終了時（2月中旬）にあわせ、アーチェリー、柔道、剣道、バドミントンの「ジュニアスポーツスクール」を開催し、総計65名の参加があった。</p> <p>大学の有能な選手とふれあう機会を提供するという本事業は、高梁市ならではの事業であり、人気も高く、今後も継続発展させていきたい。</p> <p>大学の試験終了をねらって行う活動のため、どうしても真夏、真冬の活動になるのが今後の課題である。</p>
<p>スポーツ団体等への支援</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>総合型地域スポーツクラブ「たかはしコミュニティスポーツクラブ《ピオーネ》」、高梁市体育協会に対しても幅広く支援を行う。</p>	<p>平成20年3月30日に設立された総合型地域スポーツクラブ「たかはしコミュニティスポーツクラブ《ピオーネ》」は、97人の会員の募集を行い、春秋の2回（ききょうグラウンド、高梁市民体育館）、スポーツフェスティバルや各種教室を開催した。</p> <p>《ピオーネ》は発足したばかりで、まだまだ組織も脆弱で課題も多く、自主運営できるようにさらに助言や支援を継続して行く必要がある。</p> <p>高梁市体育協会は年間を通じて多くの大会行事を開催した。各競技団体によって、自主運営能力に差があるのが現状であり、今後は種目団体が自主的・自立的に準備・運営できるように支援していく必要がある。</p>
<p>市内各地域のスポーツ施設の活用</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>市内各地域にあるスポーツ施設の積極的な活用を行う。</p>	<p>高梁市民体育館、高梁運動公園、神原スポーツ公園、有漢農村公園、なりわ運動公園、成羽武道館、各市民プールなど多くの施設があり、年間約30万人が利用した。</p>



スポーツ少年団の育成 【スポーツ振興課】	国・県の主催事業である各種大会やジュニアリーダー研修会を有効に活用しながら、スポーツ少年団の育成、強化を図る。	高梁市少年団連絡協議会と合同で異文化交流会や指導者研修会を開催するなど、他団体との交流を通じて活動の活性化を図った。
-------------------------	---	--

〈施 策〉 スポーツ施設の整備

事業名	事業実施目標	成果・課題等
神原スポーツ公園多目的広場整備(クラブハウス建設等) 【スポーツ振興課】	吉備国際大学や市民から強い要望のある神原スポーツ公園多目的広場(サッカー場)の完成をめざす。	クラブハウスの建築、照明工事、舗装工事、植栽工事などを行い、施設が完成した。
有漢農村公園多目的広場整備事業 【スポーツ振興課】	硬式及び軟式野球の公式試合が可能な機能アップを行い、地元利用者への利便性とスポーツ施設としての利用拡大を図る。	高野連からの指摘のあった球場内の防護マットの設置やホームランラインと防風ネットの整備などを行った。  これにより、大学、高等学校、中学校、スポーツ少年団などの利用率も増加するものと思われ、競技力の向上に貢献できる。
AEDの整備 【スポーツ振興課】	市内体育施設にAEDを備え付け、屋外イベント時持ち出し用も整備する。	神原スポーツ公園・有漢スポーツパーク・なりわ運動公園・有漢体育館・成羽武道館・高梁運動公園に備え付けとし6台を整備した。これにより、体育施設の整備は完了した。  また、同時に屋外イベント時持ち出し用として4台を整備した。
市民プール改修事業の検討 【スポーツ振興課】	有効な財源確保に向けた調査・研究を検討する。	都市公園長寿寿命計画を策定し、整備を行う方針を決定した。
体育施設の指定管理について 【スポーツ振興課】	体育施設の合理的効率的な管理形態を検討する。	施設管理者の高齢化の問題も含め、抜本的な管理運営の検討が必要で、継続して協議を行う。
各体育施設の維持管理と予約システムの構築のための研究 【スポーツ振興課】	市民が安全に利用できる施設にするため、また、利便性の向上を図るための維持・管理・整備に務める。  有漢スポーツパークの予約システムを試験的に導入する。	効率的な管理に務めた。建設されて20年を超える施設が多く、老朽化も著しく、改築・改修が大きな課題となっている。  有漢スポーツパークの予約システムの導入によるトラブルはなかった。今後は全市域の施設予約について随時検討したい。

## 学識経験者の意見

- 地域における身近なスポーツ環境がよく整備されていることに感心した。さらに感心したことは、その結果が確実に表れていることである。関係者の努力に深く敬意を表す次第である。また、イベントなどを通じて、スポーツ交流人口が増加し、各事業とも成果をあげていると認識できた。
- 古い施設もあるが、安全性の確保と市民が有効に活用できるよう引き続き努力いただきたい。
- スポーツ少年団に加入されている子どもが多いということで、高梁にはよい素質をもった子どもたちがたくさんいると思う。確実に育てるためには、活躍の場を将来的に考える必要がある。
- 人材の育成は、交流だけで終わるのではなく、発見をしていかないといけない。
- 優れたスポーツ団体等を地域で盛り上げて、応援していかないといけない。
- プロ選手と触れ合うことは、競技力の向上にもつながり非常にいいことであるが、子どもたちが志を持つこと、目的意識を持つことが重要であると思う。
- スポーツで活躍している高梁市の選手、団体の活動の様子をさらに広く県内外に発信してほしい。高梁市の素晴らしさを様々な面から発信することで、ふるさと・高梁を愛する心をはぐくむものとなる。高梁市が将来大きく発展する源になると思う。

## 重点目標に対する評価・課題

競技力の向上や生涯スポーツ社会実現に向け高梁市体育協会や総合型地域スポーツクラブ「たかはしコミュニティスポーツクラブ《ピオーネ》」、吉備国際大学などと連携し、事業を展開し成果をあげている。今後は関係団体とさらに連携強化を図っていくことが重要となる。

また、市民要望の高かった神原スポーツ公園多目的広場の建設や有漢スポーツパークの改修により、スポーツ交流人口の大幅な増加が見込まれ、地域づくりの核としての期待も高まるため、有効な利用に向け検討が必要となる。

既存の施設については、今後、計画的な改修計画を策定し、市民のニーズに応じていけるよう、詳細な検討が必要となってくる。